令和6年度（2024年度）第1回吹田市立男女共同参画センター運営審議会 議事要旨

1 日 時 令和6年8月21日（水） 午前10時～正午

2 場 所 吹田市立男女共同参画センター 2階 視聴覚室

3 出席者 <審議会委員>（出席者11名）

溝上絢子会長、山ノ内裕子副会長、堀内真由美委員、寺本尚美委員、中重直俊委員、池田光穂委員、岸本充生委員、尾川寿江委員、木下誠美子委員、上村美佐子委員、富永明委員

<事務局職員>

中村部長、高島室長、古田参事、淵上所長、吉川所長代理、佐藤主査、原田主任、大久保主任、内藤係員、福居係員

4 傍聴者 2名

5 内 容 案件

- （1）情報ライブラリーについて
- （2）男女共同参画センターの貸室の使用内容について
- （3）啓発グッズの活用について

6 配付資料 資料1-1 情報ライブラリー概要
資料1-2 情報ライブラリー月次資料案内「DuoLibrary」
資料1-3 情報ライブラリー月次資料案内「新着資料」
資料2 男女共同参画センターの貸室の使用内容について
資料3 啓発グッズの活用について

◆案件（１）情報ライブラリーについて

会 長： 何か御意見などがありますか。

委 員： 市立図書館との相互協力について再度説明していただけますか。

事務局： 市立図書館との相互協力といたしまして、DVDを除く図書・雑誌は市内の市立図書館への返却が可能となっています。

委 員： ３ページの専門職員の有無について、カウンターに１名ということですが、この方は司書の方ですか、それとも司書資格をお持ちの方ですか。

事務局： 職員に２名、司書の資格者がいます。

会 長： 今２名の方がいて交代でカウンターに１名いるという状態ですか。

事務局： おおむねそうです。会議等で少し離れることは時々ありますけれども、基本的にはカウンターに居て、皆さんからの御質問等を受けやすいような形で運用しております。

委 員： ライブラリーが３階にあった頃に比べたら随分と利用しやすくなり、ポップとか展示の様子もすごく良くて何かそこを通るとわくわくしました。それなのにどうして利用者数が少ないのか不思議です。私は子育て広場の方の代表をしており、当センターからちらしなどがたくさん送られてきますが、この DuoLibrary（資料案内）というのは初めて見ました。どちらに置いてますか。

事務局： 市内図書館と人権政策室の方に毎月設置しております。近くでしたら中央図書館にも設置しております。

委 員： 発行部数はどれくらいでしょうか。

事務局： 毎月 120 部発行しております、あとはホームページにPDFで公開しております。

委 員： 先ほどレポートとか卒論作成にも利用があったとお聞きしました。私の勤務先が大学なので余計にそう思うのかもしれませんが、ネット検索の時代になり学生もSNSをよく見っていますが、少し硬い文章を書くための資料探しなどは非常に不得意です。図書館に行って背表紙を見るところから、紙媒体が頼りになるんですね。今でもやはり、それが全てとは申しませんが。発行部数については予算の関係もあると思いますが、せめて市内の大学ですとか、高等学校など、レポートや特に卒論などの作成にも利用できますので、一度見に来てくださいというような、誘導のちらしがあればいいと思います。興味がないと検索しないし、調べようといったしませんので、紙で貼ってある文字が目に飛

び込んできますと、認識が少し変わって参りますので、それも考えていただけたらと思います。

事務局： DuoLibrary は、スタッフさんに手をかけて作っていただいております、高い評価の御意見をいただき、大変嬉しく思います。最近は紙媒体よりもネットを使って広げる手段もありますので、どういう広報の仕方がよいのかを悩んでいます。ホームページにも載せていまして、SNSでのPRを組み合わせるホームページに誘導する方法も検討していたところです。

委員： 私もこのライブラリーで、もっと学びたいと思いました。それから、図書館に“こういう本を置いてください”と言うことがありますが、男女共同参画のテーマの本に関しては、ここのライブラリーに行った方が早く確保できるのかと思いました。

委員： 以前から申し上げていますが、学生とか若い人たちは圧倒的にInstagramを使います。私は今、食物アレルギーの親御さんたちの団体の調査をしていますが、皆さん、どこで情報を得ますかという、ほとんどがInstagramとのこと。私たちの時はブログだったり、育児本だったりしたのが、今ほとんどInstagramになっております。

男女共同参画センターではInstagramのアカウントが無いようでしたので、こちらを活用して、DuoLibraryのこともリンクを貼りつけたりとか、或いは本の紹介を抜き出して掲載すると、若いお母さん方や大学生に関心を持ってもらえるのではないかと思います。

会長： ちなみに、大学生が論文のために図書を探しに来られたというのは、どういう経路でここにたどり着いたのか、何か把握されていますか。

事務局： かなり過去のことですが、こちらの職員に知り合いがいて、何かいい資料がたくさんあると聞き、こちらに来たとのことでした。

委員： すごくいいものを作られていますが、十分に届いてないということです。先ほどの御意見にありましたが、子育て広場のお母さんたちに、こんな本がここにあるという情報が届いていないのは残念です。Instagramのことも含めて、所長が今後検討しますと言われましたので、次回の委員会の時には具体的にこういうふうなことを増やしましたという報告をぜひ期待しております。

また、市民スタッフさんがDuoLibraryですとか、図書紹介ポップに関わっておられるということですので、市民との協働を進めていくためにも、その方たちの活動を積極的に広く市民に届けることが必要だと思えます。具体的な行動を今後起こしていただけるようにぜひお願いしたいです。

委員： 吹田市の市立図書館との連携は非常に重要だと思います。先ほど検索の話が出ましたが、スマホでこのライブラリーのリンクから図書館の検索に飛ぶと、なぜか吹田市の市立図書館にはつながらずに別のページが出ます。（分かりにくいので、改善が必要。）また、市立図書館の傘下に入ると、貸借等の手続きが異なりますので、市立図書館との連携というのは情報の連携で、蔵書管理は独自にやられた方がいいと思います。

それから、このライブラリーはいわゆる通常の公共図書館ではないですが、市が運営しているので非常に公共性が高く、図書館法に従いプライバシーの保全が非常に重要になります。戦前の様々な検閲だとか、思想統制のことを考えて、戦後に生まれた法律です。利用者がどういう経緯で来られて、どのように利用されるか、過去にどういう本を借りているかという情報は、利用者の自発的な情報開示の合意のもとで運営者はそれを利用することができます。往々にして我々は、図書の利用情報の利用に関して公共性を優先しますが、欧米では人権が非常に重要です。その部分に関しては、御配慮お願いいたします。

それから、吹田市の図書館だけでなく、吹田市のホームページもそうですが、英語に関する情報発信が非常に貧弱です。男女共同参画センターは、多文化共生とは所掌が違うかとは思いますが、その所管と上手にリンクされた方がいいと思います。とりわけDVだとか、世界の女性の生き方とかに関しては、吹田市に住む外国人女性も多かれ少なかれ関心がありますし、子育てに関する情報については市の境界を越えて様々な情報共有されていると思います。そういう部分にこのデュオが情報提供を通して関与できれば、デュオの社会的な機能が更に増すのではないかなと思います。

会長： プライバシーの関係としては、図書カードを作るときに住所などを書いてもらうと思いますが、そこに利用目的について、どんなことを記載しているのか、もう一度点検してもらえたらと思います。

事務局： 借出カード作っていただくときには、お名前と御住所と御連絡先はお聞きしていますが、利用目的については一切お尋ねしていません。

会長： 利用目的を求めるのではなく、運営者側が個人情報を知りたくて利用するのかという点です。個人情報を書いてもらうときに、用紙の下に利用目的を書くというのが個人情報保護法上必要になってきます。あなたがこのカードを使って、どう借りたかという情報を吹田市の内部資料として使わせていただくことがありますみたいなことを、多分利用目的として書いておくかどうかということになってくるのかと思いますが。

事務局： 確かに個人情報の取得の際には、利用目的を明記した上で提供いただくということが基本でございます。明記の仕方がどうなっていたか、今、記憶が定かでないのもう一

度しっかり確認しまして、今日御質問いただいた趣旨を押さえながら、今後の対応を再確認したいと思います。

◆案件（２）男女共同参画センターの貸室の使用内容について

会 長： 市民一般に対して統一的な説明をするために、こういった説明をしていくのが分かりやすく、センターの趣旨に合うのかを整理してみたいということによろしいですか。

事務局： そのとおりです。

委 員： これを考える前に、まず、どんな方が利用しているのかをお聞きしたいです。利用状況については業務概要にも載っていますが、どのような年代の方が利用されていますか。情報ライブラリーについても分かれば教えてほしいです。それと、これからどのような方に利用してもらいたいのか、どのような層を増やしていきたいのかお尋ねします。

事務局： 貸室につきましては、資料の（６）でお示しました市民の交流としての趣味等の活動が一番多くなっております。おおむね９割位はそういった御利用です。今後については、現在の利用者は高齢の方が多く、そもそも男女共同参画センターを若い方が御存知でないと思われるところがありますので、若い方の利用を促したいと考えています。

委 員： 若い方っていうのはどこを指していますか。

事務局： 若年層の方で当センターを御存知でない方、学生も含めて、そういった方にもぜひ利用していただきたいと思っております。

委 員： 資料９ページの事務局の考えで（１）から（６）までについて、なるほどと思いました。はて、と思いましたが、業務概要の３４ページで、ユースリーダーの養成講座に力を入れておられますが、それをダイレクトに反映するような文言が、（１）から（６）までになかったことです。例えば、（７）として、（１）から（５）までのような内容に関して次世代への啓発に関する活動というのを入れられた方がいいのかなと思えました。

会 長： 先ほどの使用をお断りした事例の中で、飲食店さんにおいて従業員さんに対する調理の実習であれば、営利活動の一環になります。男女共同参画と関連付けることも難しいと思います。しかし、例えば吹田市に事業所がある会社さんが社内の人材に対して、男女共同参画的なハラスメントの研修のような内容を行うのであれば、これは営利的にも

結びつくと思いますが、男女共同参画に関するものと考えられます。こういう申請があったら、どんな対応になるのですか。

事務局： 今言われたような事例については、男女共同参画を推進する事業に当たると思いますので、御使用いただけたらと考えております。ただ細かい内容につきましては申請ごとに確認し、判断することになると思っております。

委員： 若い方にも使用して欲しいと伺いましたが、利用を広めるためには利用手続きのアクセスのしやすさが基礎になると思います。利用申請は3か月前からでしてでしょうか。すごく早い時期から申し込みをしないといけないですね。

事務局： 予約抽選ですと、4か月前の25日から末日までの申込です。翌月の3か月前の1日に、予約抽選申込分の抽選を行います。更にその翌日、3か月前の2日の正午からは、空いてる枠を先着順でお申し込みいただけます。必ず3か月前に申し込まなければならないということはありませんので、空いていましたら当日でもお申し込みいただけます。

委員： 誰にも使用されないままスペースが空いているということのないように、例えば、この曜日のこの貸室はいつも空いているというような状況があれば、そこに焦点を当て、アクセスしやすくするために努力することが使用拡大につながると思います。

もう一つは料金。他市等とも比べて使用料は妥当なのでしょうか。もっと使用して欲しいのであれば、使用料の面でのアクセスしやすさも検討項目です。

あとはやはり利用時間です。他市では午後9時ぐらいまで利用できる例もあると思います。昼間の午前9時から午後5時まででは利用できない方でも、時間を広げることによって利用しやすくなると思います。これは職員体制の問題もあるから簡単ではないと思いますが、こういった様々な観点から工夫していただき、利用につなげていただきたい。

事務局： 貸室の状況について少し補足いたします。(6)の趣味等の活動で活発に利用されている団体が多くあります。通常の活動場所として当センターの貸室を使っている団体は、先々の予定を立てるためにも、約3か月前の予約開始時点にお申し込みをされています。ただ、施設全体では使用の高い部屋でも7割ぐらいの稼働率になっており、少ない部屋では5割や3割のところもございます。実際、先日も、空いているのなら今日使いたいという申し込みがあり、御使用いただきました。

一昨年の年度の終わりぐらいに予約システムが入りまして、ネット上で空き状況を確認しながら、予約できるようになりました。システムで見て当センターを知ったという新規の申請が数件ありまして、こうした使用も増えてほしいと思っています。

なお、当センターは、午前9時から午後9時まで、御使用いただけます。

委員： 今は、直接センターに行ってもネット上で手続きしてくださいと言われます。操作を助けていただくことはできますが、いろんなグループさんではネットを使いこなせない方が多く、苦勞しておられます。申請に対するサポートなどを含めて、ネットに不慣れな人も使用しやすいようなやり方が考慮されますか。

事務局： 御高齢の方の中にはシステムでの予約が大変だという方がおられるのも事実ですが、逆に、システム化により24時間予約が可能となりました。特に、今年3月からクレジットカード決済も導入し、それと同時に、予約後の支払いが使用当日でも可能となりました。あらかじめ支払いにお越しいただく必要がなくなったという利便性もありまして、すごく良かったというお声もいただいております。

システムに不慣れな方には、1階の事務室に予約用のパソコンを置いておりますので、職員が御説明しながら、一緒に予約をお取りすることもできます。以前のように窓口で直接予約を受け付けることは難しく、全庁的にもシステムの活用が主流になってきております。

委員： 貸室の稼働があまり十分ではないと御説明がありましたが、稼働率は大体何%ぐらいでしょうか。

事務局： 業務概要の3ページに利用状況を掲載しております。令和5年度の稼働率は全体で35.2%になっております。

委員： 35.2%ということは、64%は空いているということですよ。逆に、ここは空いていますよ、いかがですか、という発信をされたらどうかと思ったのが一つ。

次に、利用に関して、例えば(6)の市民の交流としての趣味等の活動というのがありますが、貸室は閉じられた空間ですので、実際の利用内容が趣旨とかけ離れた内容であっても分からないと思います。利用の際に、利用目的の趣旨にそぐわない内容であれば、今後の貸室利用を制限するというような対応が取られているのでしょうか。

事務局： まず、空き室状況につきましては、先ほど申し上げましたように、システムで確認することができます。また、システムの利用に当たり利用登録をしていただくのですが、その際に、男女共同参画センター条例等をお守りいただく旨の署名をいただいております。

委員： 吹田市の公共施設予約照会システムを見ていまして、他の公共施設よりも男女共同参画センターの利用状況が芳しくないと思っていました。例えば、アクセスが悪そうな施設を検索すると、ここよりも埋まっており、千里山、山田みたいに駅に近い施設はもっと埋まっています。利用状況が芳しくない原因は、よその施設よりも貸室の条件を厳しくしているから低いのか、他の要因があるのか、その分析はされていますか。

会長： 研修室は6、7割埋まっていて、他の部屋は5割を切ってるような感じですので、部屋の大きさや、使い方なども関係あるのかどうか、その辺も併せて教えていただけたらと思います。

委員： 随分前の話ですが、7、8人での会議で、狭くて何も設備がなくてもよくて、とにかく安い部屋を押さえてましたね。だから、部屋によってかなり値段が違うので、それも関係しているとは思っています。

事務局： 業務概要の3ページの表の一番下の行に各部屋の稼働率が載っておりまして、会長がおっしゃったように研修室は7割ありますが、一番稼働率が低い実験室は6.1%で、すごく幅があります。実験室というのは、化学実験などを行う特殊な部屋ですので、利用は少ない状況です。

また、当施設が他のコミュニティ施設に比べて利用率が低い理由としては、男女共同参画センターは、男女共同参画を推進する事業に貸し出すということで、条件が異なっております。その辺りが影響してるのではと思っております。

委員： 実験室については、理系女子のための講座があるので、実験室があるのだと思います。男性のための料理教室があるので、調理するお部屋があると分かります。工芸室は、私も興味があって使ってみたかったのですが、陶芸と木工みたいな講座があって、工芸室を利用したいという人も多いのではないかなと思っております。

事務局： 工芸室については、定かなことは申し上げられません。ただ、今年移転しましたが、もともと教育センターが3階にございまして、児童生徒さんに対する多彩な活動の中で工芸室を一時期使っていたということを聞いております。複合施設だったことで、整備したところもあったのではないかなと思っています。なお、工芸室での木工教室のような講座は、今は実施していません。

それから、先ほど御意見のありました貸室での活動内容の確認について、補足いたします。担当から御説明しましたように使用登録時にはしっかり説明させていただきまして、また、予約ごとに使用内容を簡単にですが書く欄がございまして、システムに書かれた使用内容が、いつもと違うのではないかなと思われるときには、電話でお尋ねするなどしまして、男女共同参画推進の趣旨に沿ったものであるかを確認しております。

委員：先ほど、使用料が少し高いので団体としては手が出しにくかったとのお話がありましたが、使用料はどこかに載っていますか。もし料金が高いのだとしたら、例えば、市民の子育てや男女共同参画に関するグループは安くするなど弾力的にしないと、高い使用料のまま空室なのはもったいないと思います。借りやすい値段にすると、子育て中のお母さんたちがサークルを作って登録しようということも、あるのではないかと思います。

事務局：使用料は、業務概要の63ページに掲載しております。使用料が高いという御意見ですが、安いとはよく言われるのですが、確かに工芸室のような特殊なお部屋は、少し高かったりします。お部屋の大きさによって使用料が変わりますので、使用者はその辺りも考えながら予約されているようです。

委員：使用料はすごく安いです。だから、これはよく知られていないということです。センターの趣旨・目的の説明は、必要だと思います。ここは地域のコミュニティセンターではなく、男性、女性それからLGBTQ等の人たちの活動の現場であると。全ての人のジェンダーアイデンティティに開放されている市民のための施設ということで、大義名分も通ると思います。使用料の魅力を上手に伝えるといい。かつ、男女共同参画に、私は性の多様性の問題をもう少し扱うべきだと思いますが、そちらの方に誘っていきように、ライブラリー活動やパンフレット配布とか草の根的な広報をやって、使用を上げていくといい。役所というのは数字の増減で判断されるところがあるので、アクセスしやすさを改善するのもいいと思います。

会長：今、貸室の幅広い利用という話にまで広がっていると思います。それも含めてお話ただいて結構ですが、もともとの事務局からのお尋ねは、市民に当センターの目的についてどう案内するかということですので、そこも意識して発言していただけたらと思います。

委員：使用料は、1時間単位で見ると高くはないですが、他市では1時間単位で借りられるところもあります。3時間も利用しないのだから1,000円払うよりも1時間で、例えば330円で利用したいとか、そういう使用の仕方を認めている自治体もあります。今、業務概要63ページの使用料を見ているのですが、使用料は午前9時から正午までや、午後1時から午後5時までなどとなっていて、例えば、2時から3時までの1時間だけ使用したいので、使用料は4分の1という訳にはいかないのですよね。

事務局：今現在はそういった設定を行っていませんので、そういった御利用の仕方はしていただけません。

委員： いろんな理由があってこうされているのだと思いますが、少しでも利用を増やしたいということであれば、選択肢の一つとして検討してはと思います。あとは、先ほども用途に応じた使用料という意見もありましたが、例えば、メンバーに高校生が入っている場合は半額にするという自治体もあります。

委員： 先ほど私が使用料が高いと言いましたのは、午前10時から午後2時位までの使用でよくても、午前と午後の料金を払っていました。それが高いと。あと3か月前からの予約が難しく、明日、みんなが空いているという時には高い使用料の部屋しか空いてなく、仕方なく実験室みたいなところを借りたこともありました。それで、先程高いと言っていました。誤解を招いてすみませんでした。

もう一つ確認したいのが、子育て広場の代表で来ていますので子育て世代のことですが、例えば、子供と一緒に利用する際に、どこかの部屋を借りたら保育室である「ぞうさんの部屋」を貸していただけますか。よく昔は利用していたのですが、今も変わりないでしょうか。

事務局： 「ぞうさんの部屋」だけの御利用はできませんが、他の部屋を御予約いただくときに、一緒に保育室を押さえていただくということになっております。

委員： 例えば、子供を見ながら活動するとなると、「ぞうさんの部屋」しか使用せずに、借りた会議室は使っていないということもありますよね。

事務局： あまりそういった事例はお聞きしていません。

委員： そういうことも出てきますよね。

事務局： 視聴覚室をお母様お父様が御利用されている間に、お子さんを「ぞうさんの部屋」で見るといった形が主流です。保育に専念される方がひとり、必ず「ぞうさんの部屋」に行ってくださいことはお約束いただいておりますので、それ以外の方は、視聴覚室でおられるという形の御利用が多いと思います。

委員： 貸室1部屋を借りて、「ぞうさんの部屋」も借りた場合は、「ぞうさんの部屋」は無料でしたよね。それは変わりませんか。

事務局： 無料でございます。

委員： 「ぞうさんの部屋」のことは皆さん知らないなので、子育て広場を利用してらっしゃる方が「ぞうさんの部屋」が普段空いてるんだったら開放してくれたらいいのという声もお聞きしますけれども、ほかのコミュニティセンターとか公民館にはこういう部屋がないので、子育て世代としてはすごく利用しやすいと思っています。

事務局： 確かに「ぞうさんの部屋」を知らない方は多いかもしれませんので、その周知も今後の課題かなと思っております。

会長： 市民の方への使い方の案内についてですが、先ほど茶話会でお断りになった例を伺いました。多分、男女共同参画に関係あるかと聞かれたら、無いですという回答になると思いますが、市民の交流として茶話会的なものをする場合は、可能なこともあると思います。そこは広く網にかけるという意味で、（１）から（６）までの案内をどこかに出していただくとか、しかも（６）については、趣味の活動だけでは多分分かりにくいと思うので、先ほど補足で読み上げていただいたようなことを書いていただいて、例えばこういうことだったら男女共同参画の趣旨に合うので、利用可能ですと案内するのがいいと思います。「多分、使えないだろう」と思って申し込まないケースを、くみ上げる方向になるのかなと思いました。

◆案件（３）啓発グッズの活用について

委員： いろいろ考え方はあると思いますが、こういうグッズの啓発効果はあるのでしょうか。実際ボールペンを使っている、そこに書かれてる文字を読むことは、私も周りの方を見てもなかなかないような気がします。ティッシュなんかは確かに見る方もいるかもしれませんが、費用対効果を考えるとどうかと思います。

会長： 逆に、広報・周知のための活動というのは、どういうものが効果的と思われますか。

委員： わざわざお金をかけて何か物を作らなくても、それこそ何か広告のようなものを貼るとか、目につく数を多くするのがいい。１回作ると当分は使えるでしょうし。こういうものは、ほとんど無くなって終わってしまうような気がします。

委員： ホームページなど見てみるとステッカーなどけっこう配布されているみたいです。

委員： 啓発グッズではDVとか児童虐待のことが中心になっているようですが、それ以外のテーマもあり得ると思うので、テーマに何を選ぶかに、もう少し多様性があってもいいと思います。センターのSNSとかを使って、若者とかに存在自体を知ってもらう活動とうまくリンクしたらいいかなど。インスタなんかで情報発信するときに概念だけでは伝わらないから、グッズがあると伝わりやすいと思うので、そういうふうに総合的に戦略を考えたらどうかと思いました。

会長： SNSとの連携ですと、ティッシュだとQRコードを使いやすいので、ボールペンに比べてティッシュは情報が多く伝えられるのかと。あと、費用対効果でペンよりティッシュの方が優れているのではないのでしょうか。

委員： 資料3のポスターですが、女性に対する暴力と児童虐待防止ということで、確かに見方かもしれませんが、暴力を受けた人にとってはセカンドトラウマといいますか、怖いおっさんがグッと「あなたはひとりではない」と。暴力を受けた側に立つと怖いですよ。だからよくない。22年度もガンバ大阪のカラーでブルーですね。性的な問題を研究されている方が見たらこれは炎上しますよ。他の自治体のポスターは、風景があって、ピンク、赤、緑とかのやわらかい色を使いつつ、それで講演とかでタレントさんなんかが出ているのを見かけます。男性を隅っこに配置するなど配慮しています。炎上してからでは取り返しが見つからないので、もう少し配慮をお願いします。

事務局： 今のお話は、そういう心理的な受け止めとして、ブルーなども良くないという意味でしょうか。

委員： 要するにおっさんですよ。それからスポーツは一種の格闘技ですので男性性、マンリネス（男らしさ）というのが表に出てくる。なでしことガンバのカップリングとかだったらまだ理解できるけれども。暗い背景に「あなたたちを守る」と言ったところで、DVの加害者は「しつくてある」とか「妻を守っている」と自己弁護する。イメージ的に連鎖するようなものは、我々は何も感じないけれども、被害を受けた人にとっては、更に心を苦しめる。セカンドトラウマとか二次受傷という事案があります。少数であっても被害を受けた方の心の痛みへの配慮が大切です。

事務局： 私たちが伝えたいことの内容に沿った周知の仕方ということで、参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

委員： 私もすごく怖かったです。悩みを聞く立場でもありますので、本当にびっくりしました。ガンバ大阪のロゴが入っているのも、どういうつもりか突き詰めてお伺いしたい気持ちもございました。今の委員の御発言で伝わったと思いますが、これはしんどいです。私は、私も含めて勉強が足りないのだと思いました。その結果、これが出てしまったのではと。啓発ポスターとしてびっくりしますとだけ、どうしてもお伝えしたかったものです。

会長： その辺りは分からない部分もあったかと思いますが、重く受けとめていただいて、次回以降のポスターの作成について御検討いただけましたらと思います。

◆その他

事務局： 事務局から3点報告させていただきます。

1点目ですが、本市の使用料の改定について。本市では市全体の公共施設の使用料等について、吹田市使用料手数料及び自己負担金設定に関する基本方針に基づきまして4

年ごとに見直しを行っております。貸出にかかる管理運営経費をもとに算定しております。本来ならば、昨年度に見直しを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を避けるため、1年ずらして今年度に見直し作業を実施しております。算定の結果、当センターにつきましては、使用料改定の予定はございません。先程御提案のありました時間料金につきましても、吹田市全体として昨年度から方針に取り入れていますが、受付方法なども含めて課題等を整理しながら今後検討していきたいというところでございます。

2点目ですけれども、これまで貸室の使用料につきましては、当センターまで御来館いただき、お支払いいただく必要がありましたが、令和6年3月からお支払い方法にクレジット決済を追加いたしました。お支払いのためだけに来館していただく必要がなくなりましたので、利便性の向上につながっているかと思っております。

3点目ですが、生理用品のトイレの設置について。当センターでは試行的な取組としまして、令和6年2月20日から地下と1階と2階の女子トイレ、そして1階と2階の多目的トイレの計5か所に生理用品を設置しております。主にスペースの問題からですが、個室の中ではなく洗面スペースに、そして衛生面を配慮して蓋つきの容器に入れて設置しております。

報告案件としましては、3点以上になります。

会 長： では、次回の審議会の開催時期につきまして事務局の方からお願いします。

事務局： 次回の審議会の日程について御相談でございます。委員の皆様には昨年度と本日の審議会におきまして、男女共同参画センターの取組全般に渡り議論を交わしていただき、様々なお立場から積極的に御意見をいただいたところでございます。私どもでは、いただいた意見を参考に、当センターの活動の工夫や改善につなげていこうとしているところでございますが、そうした取組に少し時間を要しているような状況でございます。

次回の審議会でございますが、審議会を開催していろいろと御意見をいただきたいところではございますが、既にいただいた御意見について整理を今している状況でございますことから、次回の会議の開催時期について、どうさせていただくのが良いかと考えているところです。次回の会議を今年度内に開催することについて、皆様の御意見をお伺いできますでしょうか。

会 長： 委員の任期が、今年度で切れてしまう方はいらっしゃいますか。

事務局： 委員の皆様の任期は、どの方も来年6月で終わりをまして、中には継続いただく方もいらっしゃると思いますが、市の方針として通算で4期までを目安ということにはなっ

ております。来年度、7月以降の開催になりますと、このメンバーではなく、新しい任期での開催ということになります。

会 長： 恐らく通常であれば、2月とか3月ぐらいに一度開催してたかと思いますが。

事務局： 2年ほど前ぐらいには、3月にしたこともございましたが、やはり年度末はいろんな意味で皆様も私も大変かなということで、昨年度は11月にさせていただきました。ただ、今年度で申し上げますと、宿題がいっぱい残っている状況で11月は近いと思われ、年末年始は厳しく、そうすると年度末になるということで、悩んでいるところでございます。

会 長： 私の意見を少し先に申し上げさせていただくと、委員それぞれから毎回意見をいただいて、全部が全部を拾い上げることは難しいかと思いますが、少なくともこれとこれとこれはこうしましたという実現できたものについての御報告があるといいと思います。本日で申し上げますと、ライブラリーのアクセスについて、具体化した検討結果を教えて欲しいというオーダーもありましたので、そういうものについては、何がしかのフィードバックをいただきたいと思います。そして、その辺りを整理する観点からすると、年内は厳しいという感覚は持っていますので、年度をまたいで、任期が変わるまでの間にするのか、委員が代わった後にするのかは、検討してみてもいいのかなと思っています。事務局側の作業次第でということによろしいでしょうか。

事務局： ありがとうございます。いただいた意見については、いくつか具体化し、改善したのもございますが、残しているものも多いところでございますので、お時間いただきたいと存じます。今の任期では難しく、新しい任期になるかもしれませんが、そういうことで御了承いただけますでしょうか。ありがとうございます。

委 員： 私は4期目で、最後の審議会になるかもしれませんので、一つ発言させてください。業務概要の39ページで、これは嬉しいびっくりです。吹田市の中学生全員がデートDVについて学ぶ機会が得られるようにと出前授業をされていますが、昨年度は始まって以来、過去最多の実績ということです。18校中14校市内の中学校でこの講座を実施したということで、本当に素晴らしいと思いました。私も中学校の教員をしておりましたが、中学生は、まだ大人のジェンダー概念が高校生よりは遠い分、柔軟に理解してくれるだろうと思っておりました。この実施件数は本当に皆さんのご苦勞と、そしてもちろん現場の協力もあったかと。本当にありがとうございます。

委 員： 先ほど、使用料の支払いにカードが使えるようになったという話がありましたが、数年前にある団体で南千里にある市民ホールを予約していましたが、コロナのワクチン接種会場に指定されて使用できませんでした。それは仕方ないですが、使用料を既に

支払っていて、返金しますので取りに来てください、いつまでに、ということがありました。特殊な事情があったにせよ、普通、一方的に取りに来いはないと思います。もし今後、ここでそんなことが起こった場合でも、そのようなことがないようにしていただきたいと思います。

会 長： 恐らく、その辺りは送金手段などの絡みもあると思われるので、御検討いただきましたらと思います。

では他にないようでしたら、以上をもちまして本日の審議会は終了いたします。皆様お忙しい中、長時間いろいろ御意見いただきましてありがとうございました。